

外来化学療法レジメン

- ・当院の外来化学療法室で実施している内服処方薬を含むレジメンの一覧です。
- ・保険薬局での処方チェックおよび服薬指導のご参考にしてください。
- ・掲載のスケジュールや薬品名は標準レジメンであり、患者様の状態によって変更になっている場合があります。
- ・患者毎のレジメンの内容は担当薬剤師がお薬手帳に貼付しています。

改定日 2021/3 がん化学療法チーム

●GIST

- グリベック療法 / 術後補助 切除不能進行・再発

催吐リスク：中等度

一般名	商品名	投与量	投与経路	投与日	1 コースの期間	継続期間
イマチニブ	グリベック錠	400 mg/日	経口	1日1回 食後	連日服用	術後補助3年間 PD（増悪）まで
<p>【特に注意したい有害事象】好中球減少症、悪心、下痢、発疹、倦怠感、浮腫</p> <p>空腹時の服用は悪心につながる可能性があるのを避ける</p> <p>【相互作用】CYP3A4を阻害する薬剤・誘導する薬剤・食品に注意、ワルファリンカリウム（CYP2C9）、アセトアミノフェン</p> <p>【併用禁忌】ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）</p>						

- スーテント療法 / 切除不能進行・再発

催吐リスク：軽度

一般名	商品名	投与量	投与経路	投与日	1 コースの期間	継続期間
スニチニブ	スーテントカプセル	50 mg/日	経口	1日1回 食後 4週間服用 2週間休薬	6週毎	PD（増悪）まで
<p>【特に注意したい有害事象】心毒性、手足症候群、高血圧、高血圧、骨髄抑制、甲状腺機能障害、口内炎</p> <p>尿素入り軟膏またはヘパリン類似物質軟膏による保湿を連日行う</p> <p>【相互作用】CYP3A4を阻害する薬剤・誘導する薬剤・食品に注意、QT間隔延長を起こすことが知られている薬剤、抗不整脈薬</p>						

□ レゴラフェニブ療法 / 切除不能進行・再発

催吐リスク：軽度

一般名	商品名	投与量	投与経路	投与日	1 コースの期間	継続期間
レゴラフェニブ 水和物	スチバーガ錠	160mg/日	経口	1日1回 食後 3週間服用 1週間休薬	4週毎	PD（増悪）まで
【特に注意したい有害事象】 手足症候群、高血圧、下痢、発疹、疲労、発熱						
尿素入り軟膏またはヘパリン類似物質軟膏による保湿を連日行う 空腹時または高脂肪食後の服用は効果が低下する可能性があるのを避ける						
【相互作用】 CYP3A4 を阻害する薬剤・食品に注意						